

令和6年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立池雪小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

【低学年】

- ・ 楽曲の曲想や特徴をとらえて、楽曲に合った声や強さで歌おうとしている。
- ・ 音楽の要素やしくみの言葉を意識して学習することができた。

【中学年】

- ・ 友達の歌唱を聴いて感想を発言する学習活動で、曲にふさわしい音色や強さを判断する力が高まった。
- ・ 音楽づくりの創作活動を、3～4人のグループで協力して行うことができた。

【高学年】

- ・ 合奏楽器パートの役割や音色の組み合わせを学習したことにより、演奏表現が向上した。
- ・ 従来の形での音楽会や卒業式が再開されたことにより、歌唱に意欲的に取り組み、声量も増して二部合唱することができた。

(2) 課題

【低学年】

- ・ 指導者によって、音楽の要素やしくみについての指導にばらつきが出やすい。
- ・ 鍵盤ハーモニカの奏法では、息使い(タンギング)が苦手である。指使いを意識していない児童もいる。

【中学年】

- ・ リコーダー奏では、自分の演奏の音について判断することが難しい。
- ・ 曲想や音色について興味を持ち、表現することが難しい。

【高学年】

- ・ 歌唱や楽器演奏の技能の習得と定着に大変時間がかかる。
- ・ 気持ちを集中して楽曲を聴き、音楽の要素や仕組み、曲想表現の言葉を使って表現することが難しい。

2 授業改善のポイント（観点別）

（1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・歌う姿勢や口の開け方を意識させて望ましい歌声で歌唱する。 ・鍵盤ハーモニカ演奏で、息使いを意識して演奏できるように指導する。	・音楽を形づくっている要素（拍・反復など）を知って、意識して聴いたり演奏したりする。 ・曲想を表わす言葉一覧表をファイルに常備して学習に生かすことができるようにする。	・楽しく活動する学習を続ける手だてとして、音楽づくり等で ICT を活用する。 ・各学級が歌う校歌など学習の成果を発表する場として、給食放送を活用し意欲を高めていく。

（2）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・様々な曲想があることを伝え、よく響く声で歌う練習を重ねる。 ・リコーダーの基本奏法を習得するだけでなく、よりよい音を目指すために、自分の音をよく聴きながら繰り返し練習する。	・音楽を形づくっている要素を理解できたことを生かし、楽曲の中で具体的に理解を深め、曲を味わったり表現したりできるようにする。	・グループ活動を通して互いの思いや工夫の良さを知り、自らの学習に生かせるよう発表する場を設ける。 ・音楽集会の歌など様々な曲想の楽曲を体験することで、ふさわしい表現への意欲を高める。

（3）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・リズム唱や階名唱を十分にを行い、基本的な演奏の技能を伸ばす。 ・声を重ねて合唱にするために、楽曲の要素を短時間の継続した練習で積み重ねる。	・友達との交流やワークシートを手掛かりに、音楽を聴いて感じたことと音楽の要素（強弱、音色等）との関わりを考える学習を行う。	・思いや意図を明確にもつことができる教材を選択する。 ・表現の場までの練習に見通しをもつことができるように、活動期間中に振り返り活動を行う。 ・ダイナミックな表現ができるように、音楽発表の取り組みを活用し、友達と合唱合奏する楽しさを味わわせる。